パワーアライアンス税理士事務所 News

編集発行人
パワーアライアンス税理士事務所
税理士 若杉 治
〒151-0073
東京都渋谷区笹塚3-37-1
第1花井ビル2F
TEL 03(5365)4744㈹
FAX 03(5365)4745
E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

◆ 8月の税務と労務

国　税／7月分源泉所得税の納付　8月10日
国　税／6月決算法人の確定申告（法人税・消費税等）　8月31日
国　税／12月決算法人の中間申告　8月31日
国　税／9月、12月、3月決算法人の消費税等の中間申告（年3回の場合）　8月31日
国　税／個人事業者の消費税等の中間申告　8月31日
地方税／個人事業税第1期分の納付　都道府県の条例で定める日
地方税／個人住民税第2期分の納付　市町村の条例で定める日

8月 （葉月）AUGUST

11日・山の日

日	月	火	水	木	金	土
・	・	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	・	・

ワンポイント

法定相続情報証明制度　相続人が登記所に対し、被相続人が生まれてから亡くなるまでの戸籍関係の書類等と、この書類の記載に基づく法定相続情報一覧図を提出し確認されると、認証文付きの法定相続情報一覧図の写しが無料で交付される制度。本年５月29日から始まっており、相続登記や預貯金の払い戻し等の相続関係手続に利用できます。

気　象　庁

気象庁の役割

気象庁は国土交通省の外局で、自然現象に関する観測データを収集して解析することで、的確な気象情報を提供しています。これによって、自然災害の軽減や国民生活の安全・安心の確保、産業の発展などを実現する役割を担っています。

気象庁が提供する情報は、日々の生活で見聞きする天気予報はもちろん、台風や地震などの防災情報、地球温暖化予測や紫外線情報などの地球環境に関する情報など多岐にわたっています。情報の提供先も、メディアを通じて国民に提供するだけではなく、行政機関や船舶・航空機など様々です。

気象庁の組織

気象庁は、札幌・仙台・東京・大阪・福岡に管区気象台を設置して、気象や地震などについての広域的な観測・監視や情報提供などを行っています。よりきめ細かな観測や情報提供・解説については、各道府県に設置された地方気象台が行っています。さらに航空機の安全運航のため、主な空港には航空地方気象台が設置されています。

気象業務には技術開発や研究、人材育成が欠かせません。気象庁では、気象研究所・気象衛星センター・高層気象台・地磁気観測所・気象大学校を設置して、研究開発や人材育成を行っています。

気象庁の歴史

明治５年に日本で最初の気象観測所として、函館に気候測量所が開設されました。この気候測量所は、現在の函館地方気象台になります。明治８年には、東京気象台でも気象業務が開始され、地震観測や気象観測が行われました。

明治16年には全国から気象電報を収集できるようになり、当日に天気図が作製され、同年３月には天気図の印刷配布が始まりました。その後、同年５月には暴風警報が発表され、翌年６月には天気予報が開始されるなど、着実に技術が進歩していきました。

昭和27年には気象業務法が施行されて現在の気象業務の基本制度が定まりました。昭和49年には地域気象観測システム（いわゆるアメダス）の運用が開始され、昭和53年には静止気象衛星ひまわりによる観測が開始されるなど、現在の気象観測につながる技術が開発されています。

提供される情報

気象庁のホームページでは、天気予報や気象に関する警報・注意報だけではなく、様々な情報が提供されています。

例えば「高解像度降水ナウキャスト」は、気象レーダーの観測データや全国の雨量計のデータなどを利用して、降水についての短時間予報を提供しています。これは全国の降水分布について、陸上と海岸近くでは250m四方の細かさで、その他の海上では１km四方の細かさで30分先まで予測するシステムです。また、地表付近の風や気温・水蒸気量から積乱雲の発生を予測する取り組みも行われています。

気象予報士

平成６年に気象予報士の制度が導入されました。これは、気象庁から提供される数値予報資料などの高度な予測データを適切に利用できる技術者を確保することを目的に創設された制度です。この年の８月28日に第１回の気象予報士試験が行われたことを記念して、８月28日が気象予報士の日と定められました。

民間の気象会社は、気象に関する現象の予想を気象予報士に行わせる義務があります。気象予報士によって運営されている一般社団法人日本気象予報士会では、気象技能の向上や気象知識の教育・普及などの活動を行っています。

魚介類の消費量

厚生労働省が毎年行っている国民健康・栄養調査によると、魚介類の摂取量が年々減少しているようです。

具体的に１人１日あたりの食品群別摂取量の平均値をみると、動物性食品の総量は1975年以降300gから330gくらいで推移しており、あまり変化はありません。しかし魚介類については1975年には90g以上摂取されていたのが2015年には70gを下回っており、摂取量は約４分の３に減少しています。

魚嫌い

農林中央金庫は2016年に東京近郊の小中学生400人を対象に、「子どもの食生活の意識と実態調査」というアンケート調査を行いました。この調査によると、給食の好きなメニューの上位は、「カレー」「揚げパン」「唐揚げ」でした。一方、嫌いなメニューについては、「特になし」が最も多い回答だったものの、次いで「魚料理」「サラダ」が挙げられました。

一般社団法人大日本水産会が2012年に行った水産物消費嗜好動向調査によると、魚をあまり食べない理由として、「料理や後片付けがしにくい」に次いで「魚が好きではない」が挙げられました。同じ調査で魚介類に対するイメージを聞いたところ、「健康によい」や「美味しい」といった良いイメージが上位を占めているものの、悪いイメージの上位には「匂いが気になる」が挙げられていました。

フルーツ魚

フルーツ魚とは

柑橘類などのフルーツから取れる生成物をエサに混ぜて育てる食用魚を「フルーツ魚」といいます。高知大学の研究チームと鹿児島県が開発・製品化した「柚子鰤王」が、日本で初めてのフルーツ魚だと言われています。

開発のきっかけは、養殖のブリで問題となっていた血合い肉の褐変の抑制に、ポリフェノールなどの抗酸化物質が有効であることがわかり、高知県の「柚子」を使って研究を進めたことだったようです。実際に柚子の果汁を混ぜたエサを与えたブリは、切り身の色が鮮やかに保たれ、褐変を抑制することができました。さらにこのブリを食べてみると、ほのかに柚子の香りがすることが確認されました。この研究のデータをブリの養殖日本一の鹿児島県に持ち込み、東町漁協で採択されて「柚子鰤王」が商品化されました。

生育から出荷までの流れ

フルーツ魚は、一般的な養殖と同じように育てられます。例えば柚子鰤王は、４月から５月ごろにかけて東シナ海などでブリの稚魚を採り、養殖場に搬入します。柚子が入ったエサを最初から与えるわけではなく、まずは栄養価の高いイカナゴなどを与えます。成長とともにエサを変えていき、出荷の２か月ほど前から柚子の果汁や果皮などを混合したエサが与えられるようになります。養殖場に搬入されてから約１年半で４～６kgの大きさに成長し出荷されるようです。

西日本を中心に増加

エサを工夫することで養殖魚の味や質をある程度変えられることが知られ、今では柚子鰤王以外にも、様々なフルーツ魚が開発されています。特に四国や九州では比較的水温が高いので養殖が盛んに行われていることと、柑橘類の栽培も盛んであることから、フルーツ魚の開発が広がっています。

さらに柑橘類だけではなく、オリーブやハーブ類、ブドウなどをエサに加えたフルーツ魚も登場しています。これらは、魚の嫌な臭いを減らすことや、魚のうまみやコクを増す効果があるようです。

ウシブル

常時身体に身に着けて使用するコンピューター端末を「ウェアラブル端末」といいます。ウェアラブル端末には腕時計型やリストバンド型、メガネ型などがあります。

腕時計型は、スマートフォンと連携して通話や受信メールの確認、カメラ撮影などの機能を備えています。

リストバンド型は、リストバンドに小さなランプや表示画面が付いており、日常生活やスポーツ時などに活動量計として利用されています。メガネ型は、メガネにカメラやセンサーが搭載されており、録画や見ているものの情報を表示したり、センサーで眼球をモニターして疲れ具合などを確認したりできる機能があります。

変わったウェアラブル端末としては、指にはめて指を動かすことで家電製品などを操作できる指輪型や、GPS機能を搭載して高齢者の所在確認に利用できる靴型などがあります。

大手衣料メーカーのグンゼは、乳牛に使用するウェアラブル端末「ウシブル」を開発し、実証実験に取り組んでいます。乳牛は暑さに弱く、夏には日よけや大型扇風機による送風、散水といった対策を畜産農家は講じています。しかし温暖化の影響でこれらの対策も効果が薄く、暑さで乳牛がストレスを感じて生乳の生産量は減少しています。

ウシブルは、高い放熱性能を有したオリジナルの素材でできたウェアを乳牛に着せて、細いパイプから少しずつ水を送り込んで生地を湿らせ、その気化熱によって乳牛の体温を下げることができます。このウェアには伸縮性の高い導電性ニット線材が組み込まれています。

ウェアが湿ったり乾燥したりすると線材の電気抵抗が変化するので、ウェアが乾燥していることを感知し、最適なタイミングで注水することができる仕組みになっています。

特殊詐欺

対面することなく、不特定の人に電話やメールなどを使って行う詐欺を特殊詐欺といい、「振り込め詐欺」と「振り込め類似詐欺」に分けられます。振り込め詐欺は、オレオレ詐欺や架空請求詐欺といった、架空の事実を口実として現金を口座に振り込ませる詐欺です。一方、振り込め類似詐欺は、金融商品や異性との交際斡旋といった虚偽の情報を提供して、商品の購入代金や会員登録料といった名目で金銭をだまし取るものです。今年三月末現在の被害状況を見ると、件数も被害額も前年に比べて大幅に増えています。

警視庁のホームページには、特殊詐欺の手口と防止対策が公開されています。また犯人の再現音声ファイルも聴くことができます。これらの情報を家族や地域で共有し、特殊詐欺の被害を未然に防ぎたいものです。

８月７日はバナナの日

一般的にバナナはカロリーが高いと言われていますが、実はカロリーの低い食品です。実際に食品成分表を見ると、ごはん１杯（150g）は252kcal、食パン１枚（80g）は211kcalあるのに対し、バナナ１本（100g）では86kcalとかなり低カロリーな食品だと言えます。また、バナナには炭水化物やたんぱく質はもちろん、ビタミンB群やカリウム、マグネシウムなどが含まれており、栄養価の高い食品です。さらに、バナナには水溶性と不溶性の２種類の食物繊維が含まれているので、小腸や大腸などの消化管の健康維持にも効果があるといわれています。

バナナの保存には、15～20℃くらいの常温が適しています。温度が低すぎたり低温で長時間保存したりすると、皮が黒く変色します。冷えたバナナを食べたいときは食べる２時間くらい前に冷蔵庫に入れるのが良いそうです。